

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、「参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く」、数学では、問い8（3）と9（1）の「～を説明する」が全国平均を大きく上回る高い正答率でした。また、国語は全体的に、全国平均を少し上回る正答率となっています。これらは、本校が平成21年度から始めた「支え合い・学び合う」姿勢を大切に、他者と関わり合いながら進める協同学習を核とした授業を継続し、培ってきた力が表れた結果であると思われまます。

数学では、問いの14と15を正答している割合が、全国平均を大きく上回りました。

質問紙調査の結果については、平成31年度には全国平均に比べ大きく下回っていた自己肯定感に関する全ての質問において、国と同じ水準となりました。この結果が出た要因の一つに、本校が2年前から始めた「グッドビヘイビアカード」を挙げることができると思われまます。

課題と対応

数学は、全般的に全国に比べて正答率が低く、特に計算や一次方程式など基礎的な問題に課題が見られました。これらの課題を改善するために、数学に限らず、学習した内容を定期的に振り返る機会を意図的に設定したり、日々の授業の中で、既習内容を活用したりすることができるように授業を計画するとともに、補充学習や家庭学習を利用し、学習内容の定着を図っていきたいと考えまます。

質問紙調査の結果からは、「家で、自分で計画を立てて勉強している」という質問に対し、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した生徒が50%おり、全国平均よりも多いことが分かりました。中学校卒業後の生活なども考えさせながら、学級活動等の時間を使い、受験（検）に向けての意識を高め、自主的・自発的に学習に取り組んでいけるように指導をしていきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という質問に対する否定的な回答をした生徒は、全国平均よりかなり多いことと、「学校に行くのは楽しいと思いまますか」という質問に否定的な回答をした生徒は、全国平均よりやや多いことが分かりました。今後、特に学校生活の中で一つでも多くの成功を経験させることで、より多くの生徒が「学校に行くのが楽しい」と実感し、それを基にいろんなことに挑戦しようとする気持ちを育てていきたいと思いまます。そのためには、家庭との連携をより一層深め、日々の生活の様々な場面で声掛けをしていくことが大切だと思われまますので、今まで以上にご協力をいただけるようお願いまます。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	文脈から意味を理解することができる。
	社会	織田信長の行ったことについて理解することができる。
	数学	線対称な形を選ぶことや、最大公約数の考え方を使って数を求め、その考えになる理由を説明することができる。
	理科	検流計を回路に組み込む方法などの実験に関する問題はよくできている。
	英語	単語を聞き取ることはよくできていた。
	学習状況	家で、自分で計画を立てて勉強している生徒の割合が高い。
第2学年	国語	伝えたい事柄について、考えの根拠を明確に書くことができる。
	社会	地理は全般的によく理解することができる。
	数学	関数において数量の関係を説明することや円柱や球の表面積・体積を求める問題で特に正答率が高い。
	理科	無解答の生徒がほぼいないことから、理科嫌いの生徒が少ないと考えられる。
	英語	聞き取りと英文の読み取りがよくできていた。
	学習状況	家で、自分で計画を立てて勉強している生徒の割合が高い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	同音異義や慣用語など言葉の知識に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、語彙力を向上させる必要があるため、読書や日常会話などで言葉に意識を向けるよう習慣付けていくようにする。 ・社会では、今まで以上に、資料やデータを活用した授業を行うようにしていく。 ・数学では、授業中に計算ルールを丁寧に確認し、自主勉強を含め、家庭学習をすることで定着させる。そのためにも、家庭学習の習慣化を図る。 ・理科では、協同学習の中で、生徒一人一人に考えさせ、答えを導き出せるような授業をしていく。 ・英語では、授業の振り返りで英文を書かせることで、覚えるべきことを自覚させる。また、語彙力を付けさせるために、帯活動での音読練習や単元テストを行う。
	社会	日本の食料生産について資料からポイントを読み取り、考えることに課題がある。	
	数学	2桁どうしのかけ算、分数、小数の計算のルールが正確に身に付いていない。	
	理科	思考力を問う問題についての誤答が多かった。	
	英語	英文理解、英作文、時制、語彙力に弱さが見られる。	
	学習状況	1日に2時間以上ゲームをする生徒が6割以上いる。	
第2学年	国語	文章を理解して内容を捉えることに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・国語では、キーワードや段落相互の関係に着目して読むことや、要旨をまとめる活動を取り入れる。 ・社会では、市の問題データベースを積極的に活用し、第1学年の歴史の学習内容の復習に取り組む。 ・数学では、計算テストを繰り返すなどして、基礎的な計算問題で確実に正解できる知識・技能を身に付けるように指導し、生徒に自信を付けさせたい。 ・理科では、第1学年の学習内容を復習しながら授業を進めていく必要がある。 ・授業の振り返りで英文を書かせることで、覚えるべきことを自覚させる。また、語彙力を付けさせるために、帯活動での音読練習や単元テストを行う。
	社会	地理に比べると、歴史の理解力が低い。	
	数学	乗除が混じった式の計算や分配法則の計算で正答率が低い。	
	理科	音の性質についての理解が不足している。	
	英語	長文読解、英作文、語彙力に弱さが見られる。	
	学習状況	1日に2時間以上ゲームをする生徒が約6割いる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

第1・2学年ともに、『家で、自分で計画を立てて勉強している』に対して、6割近い生徒が「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と答えています。一方で、『1日に2時間以上ゲームをする』生徒が約6割いることから、「計画は立てていても、十分な学習時間をとってはいない」という状況が想像されます。ゲームに費やす時間が長くなれば、学習時間は短くなると考えられるので、この点については、家庭との連携を更に深めながらメディアコントロールの指導を粘り強く行っていかねばならないと思います。これからも本校の指導についてご理解とご協力をいただきたいと思います。